

春秋会

ニュースレター

2024.7



今月の予定

- ・7/16 (火) 18:00～
若手会研修「独立は怖くない。真の自由を得る方法」
- ・7/19 (金) 12:00～
幹事会
- ・7/19 (金) 13:00～
選考委員会(候補者の意見を聴く会)
- ・7/24 (水) 18:00～
政策委員会シンポ「政治とカネ」
- ・7/30 (火) 19:00～
親睦委員会「サマーフェス」

自分らしく働く

～131年目の酒蔵、創造への挑戦～

池本亮太 (76期)

2024年6月4日に日本女性法律家協会近畿支部、研修委員会共催の『自分らしく働く～131年目の酒蔵、創造への挑戦～』研修が開催されました。

何やらメーリングリストに流れていたな、はて、どんな研修だったのだろうかと思われた方も多いのではないのでしょうか。

ざっくりといえば、梅乃宿酒造株式会社のお酒を飲みながら、同社代表取締役、五代目蔵元の吉田佳代社長の講演を聞く研修です。



この研修の魅力は2つ。1つは、日本酒をはじめとして、変わり種のお酒を嗜むことができることです。研修では梅乃宿酒造株式会社から、日本酒をはじめとした様々な果実のリキュール、食べるお酒「大人の果肉の沼」シリーズ、お酒に入れて飲むポーション等多種多様なお酒をご提供いただきました。



131年の歴史を誇る日本酒の酒蔵ということもあり、日本酒はとても洗練されてどれも甘美な味わいです。今回は食前に、海外では15万円することもある梅乃宿酒造の最高峰の日本酒として「葛城 純米大吟醸」をご提供いただきました。

日本酒はあっさり、辛口が好みで、大吟醸より吟醸が好きな私ですが、梅乃宿酒造の大吟醸はとても透き通った味わいで、それでいて華やかな香りのするもので、大吟醸とはこんなに飲みやすく美味しかったものだったかしらと驚きました。

2024 年度 広報委員

- ・河野雄介（60期、委員長）
- ・小野順子（57期、担当副幹事長）
- ・西原和彦（55期）
- ・堀川智子（57期）
- ・溝上絢子（57期）
- ・浦寛幸（59期）
- ・松尾洋輔（59期）
- ・広瀬元太郎（60期）
- ・柳勝久（61期）
- ・山田寛子（65期）
- ・金星姫（66期）
- ・木場晶子（67期）
- ・田村瞳（67期）
- ・板崎遼（67期）
- ・吉留慧（68期）
- ・高一成（69期）
- ・根本俊太郎（70期）
- ・足立敦史（71期）
- ・村本健司（71期）
- ・河野哲平（71期）
- ・才木晴幹（72期）
- ・中岡さつき（72期）
- ・中西教子（72期）
- ・久井大輝（73期）
- ・佐々木崇人（74期）
- ・神澤鈴子（74期）
- ・今野敬文（76期）
- ・小林悠人（76期）
- ・永田駿（76期）

また、各種ご提供いただいたお酒は吉田社長からご説明もあり、どのお酒にどんな魅力があるのかも知ることができました。

実は、お酒の店頭販売で社内最高記録を樹立したご経験がある吉田社長。吉田社長の説明は参加された先生方の心をはっきり掴み、ご提供いただいたお酒はあっという間に完飲となり、試飲は大好評でした。今回ご提供いただいたお酒はどれも本当に美味しかったので、この記事を読んで興味を持たれた先生方はぜひ参加された先生方にもご感想お聞きしてみてください。



そしてこの研修のもう一つの魅力は、吉田社長の講演です。とにかく話が面白い、どうしたら自分の人生をここまで面白く話す事ができるのだろうか、そう感じる講演でした。

また、吉田社長の講演ではしばしば名言が飛び出します。エピソードと結びついているのでとても印象に残り、講演に参加された先生方も感想として名言が印象に残ったと述べていらっしゃいました。

私が特に印象に残っているものは、「現状維持は落ちていくだけ、世の中は進化している」です。



日本におけるお酒の消費割合のうち、日本酒は全体の5%未満であるのに対して、日本酒の酒蔵は1500社もあり、酒造会社は苦境に立っているという文脈で出てきた名言でした。

個人的には弁護士業界でもいえることなのではないか、ただただ漫然と仕事をしているだけでは落ちていくだけなのかもしれない、そう感じる一言でした。

常に新しいことにチャレンジして131年目の梅乃宿酒造株式会社を盛り上げている吉田社長のファイター精神に尊敬しつつ、そのチャレンジによってできた美味しいお酒を飲みながら過ごす3時間はとても楽しいものでした。

息子と宝塚に行ってきました！

浦寛幸（59期）



私は以前、春秋会の親睦企画で平成23年11月に宝塚劇場に行ったことはあるのですが（その時は、小橋先生が親睦委員長で、野仲先生がチケットを手配されたようです。）、小学5年生の息子は初宝塚です。そんな息子は、主目的そっちのけで、JR宝塚駅に降り立つと、駅スタンプに向かいます。

さすが、宝塚歌劇団のお膝元の駅です。

今まで見た駅スタンプの中でも、

中々の出来栄でした。

そんな駅スタンプに目のない息子ですが、

宝塚劇場内にも、スタンプ発見（笑）

一目散に、スタンプを押しに行きます。



ということで、本題に入ります。

今回の演目は、宙組公演の『Le Grand Escalier ール・グラン・エスカリエー』です。

詳細は、ネタバレになりますので、控えますが、

前回、私が見たミュージカルとはまた違った、歌とダンスの演目でした。

フランス・パリをはじめとして、グラナダの闘牛場、ニューヨークの摩天楼をテーマにしたまばゆいばかりのステージでした。



親睦委員会の正式行事ではないので、懇親会はなかったのですが、

少しの間でも、息子含め、皆さんと交流できたのは、貴重な機会となりました。

今後も、会員間での親交が深まる企画を期待しております。間野さんがんばってください。

最後に、今回の企画では、参加者募集、チケットの手配、会費回収、発券、交付など、

お一人で担当されました横瀬さんには頭があがりませんね。本当にお疲れ様でした。

色々大変だったかと思います。

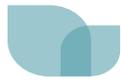
皆さんも、どこかで横瀬さん（中央のリーガリューを持ってるヒゲの人）を見かけましたら、

是非とも、チャホヤしてあげてください～



ちなみに、帰りはJRではなく、
阪急で帰りました。
目的は、、、もちろん駅スタンプ
です（笑）





執行部だより

小野順子（57期 広報委員会担当副幹事長）

2024年6月12日、幹事会の懇親会を行いました。正副幹事長のほか3名の幹事のみなさんにご参加いただきました。人数的には少なめではありましたが、私自身は大人数の宴会が苦手なので、ちょうどよい感じの懇親会になって有り難かったです。

いろいろ話しているうちに、「若手の方に春秋会の活動にどう参加していただくか」という話題になりました。

とはいえ、委員会活動は、若手の方がずいぶんと活躍してくださり、それで会の運営が成り立っているところがあるのですよね。私は今年、広報担当副幹事長をやらせていただいております。毎月の広報委員会は、若い方が大勢集まり、闊達な議論の後、楽しい懇親会が開催されています。ほかの委員会も、同じような感じではないかと想像しています。

が、それら委員会活動を熱心にしてくださる方々が、この6/12の懇親会や、総会などにはあまりお越しになりません。今回、久しぶりに執行部に関わらせていただくことになって、会の運営を改めて眺めていますが、おそらく若手会員からすれば「はて？」と思うこともあるだろうと思います。総会に、若手がわっと押し寄せて意見を言ったら面白いのに…と思うこともあります。

まあ、そんなカタイ話ばかりでなくとも、6/12の懇親会では、新人や若手はけっこうユニークな人が多いよね、という話も出ました。たしかに、1月の新人歓迎会の自己紹介は面白かった。もっと聴きたかったです。先日も、会派活動ではないですが春秋会の新入会員の方と話す（飲む）機会があり、その斬新な発想に度肝を抜かれたところでした。

春秋会には、きら星のごとく輝く重鎮の方々が多くおられます。それは間違いなく春秋会の宝です。その一方で、これからスターになっていく若手のお話も聴いてみたい！と思います。人口が増え、右肩上がりの経済成長を続ける時代に培われた私の発想は、もう現代では古びてしまいました。これからの時代を作っていく人たちが、どんな発想で未来を描いているのか、教えてほしいのです。

と、最後は大きな話になってしまいましたが、目の前の仕事もがんばろうと思います。今日も机の上が山積みなので…。



あしがき

広報委員会では、会員の皆様から原稿を大募集します。ぜひ、ご連絡ください。

- 1 今までのニュースレター・会報の記事に対するご意見
- 2 子育て体験談
- 3 変わった国に行った旅行記
- 4 ペットや趣味の紹介
- 5 感動した本、マンガ、ゲームの紹介

などありましたら、以下のアドレスにご連絡ください。

広報委員長 河野雄介 y.kono@swlaw.jp